

図書館だより

第3号

奈良情報商業高校図書館
令和元年6月発行



リレーコーナー

鉛筆削り 国語科 石本尚美

私は物持がいい。子どもの頃からずっと使っているものがいくつもある。とくに壊れていて使えないのに、捨てられないものがある。それは手回し式の鉛筆削りで、その頃、テレビで放映していた、アニメのキャラクターが描かれている。

私はものをねだるということをめったにしない子どもであった。しかし、その鉛筆削りだけは、見た瞬間どうしてもほしくなったのである。小学校に上がる前のできごとであった。母が勤めていた小学校の門前の文具店にそれはあった。おそらく夏休み中に、母に連れられて小学校に行き、文具店に用があった母と訪れたのだと思う。用を済ませた母が「行くよ」と言った時、私はその鉛筆削りの前から動けなくなった。

「買って」ということばが出てこない。でもこのまま帰ることはできない。じっとしている私に母が「欲しいの?」と言った。いくらしたか覚えていないが、子どもの私からすればとんでもなく高価なものだった。鉛筆削りが入った箱を抱えた私は、飛び跳ねたいような気持ちであった。

小学校入学後、家には電気鉛筆削りもあったが、手回し鉛筆削りを使い続け、大学生になるころ調子が悪くなった。母は60歳を少し過ぎて他界した。私がいなくなったら、子どもらは惜しげもなく捨てるだろう。それでいい。

紫陽花のあざやかな色が雨に映える季節となりました。
1学期も半ばを迎え、簿記検定や珠算・電卓検定も行われる予定です。
学習意欲を旺盛に持って、図書館も大いに利用してくださいね。

図書館員のいちおし図書 (3年3組)

『注文の多い料理店』

狩りが趣味の青年貴族二人が、とある山奥で道に迷い、そこで見つけた料理店に入っていきます。〈どなたもどうかお入りください。決してご遠慮はいりません〉ところが二人はお店に入ってもなかなか席に着くことができませんでした。お店のなかにはお客に対してのいろいろな指示の書かれた張り紙がしてあり、その通りにしないと席には着けなかったのです。二人は疑うことなく指示通りにしていきますが、最後の指示を読み—〈いや、わざわざご苦労です。たいへん結構にできました。さあさおなかにおはいいりください〉

—賢治ワールドをお楽しみください



宮沢賢治について

誕生：1896年8月27日 死没：1933年9月21日

出身地：岩手県稗貫郡里川口村（現・花巻市）

職業：詩人・童話作家

デビュー作：『春と修羅』

代表作：『銀河鉄道の夜』『雨二モマケズ』『風の又三郎』

『注文の多い料理店』 宮沢賢治作 島田睦子絵 偕成社
日本の童話名作選シリーズたくさん入っています！

*リクエストは随時
受け付けています。



新着図書案内

『ときめく文房具図鑑』

山崎真由子文 今野光写真 山と溪谷社

「ときめく」の言葉と表紙の写真が気に入りにした一冊。文房具の素敵な写真と詳細でわかりやすい紹介文に心が躍るときめいてきます。

